

学校目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい 蒔田っ子」

横浜市立蒔田小学校だより

平成28年度

3月号

平成29年2月28日



まいた

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/>

校長 保科 泉

蒔田小学校に通じる坂の麓ふもとにある信号を、今年度も何百回渡ったでしょうか。

朝、六年生を先頭にした登校班が、狭い路側帯に並んで青に変わるのを待っているのを目にします。遠足、校外学習に出発する時は、坂の下でこの信号待ちをしたりするのが恒例です。時折、上から坂を駆け下りてきた子を見て、ひやっとする場面に出くわし、地域の方からご注意を受けることもありました。

この歩行者用信号は、ボタンを押してからだいたい六秒で青に変わります。私はここを渡る時、いつも心の中で「一、二、三、四、五、六」と数えます。ピタリ「六」を唱えた時に青に変わった時は、「よしっ。」と心の中でガッツポーズ。もちろん、いつもピタリではありません。というより、ずれることの方が多いです。じつは、このズレ方が、その時の心のバロメーターです。十二月九日、体育科研究発表会当日の朝は、「七」を越えました。気が急いでたんですね。

二月二日の個別級合同学習発表会を終えた帰りは、「五」を唱えている最中に青に。子供たちの素晴らしい演技と成長の感動で

頭がいっぱいの状態でのカウントだったからでしょう。

二月十三日の帰途は、びったり「六」。この日は「まちととも歩む学校づくり懇話会」がありました。教育目標をマイナーチェンジし、心と体と頭の健康づくりを目指してきたこれまでの取組について、授業視察や給食試食も含めた振り返りをし、参加された保護者、地域の方々の委員のみなさまからご意見と評価をいただいた日でした。今年度の蒔田小の教育について良かった点と反省点が明らかになり、平成二十九年度に向けての見通しがすっきりした帰り道でした。

「時間が早く進め。」ともしかしい思いをすることもあれば「この時がずっと止まってほしい。」と思う瞬間もありました。人の時間の速さはその時その時で違うということを、あらためて感じる一年間でした。その中心には、常に元気で明るい蒔田っ子がいます。

今、校内の花壇は、みずきバザーの収益金のご寄附で植えた花々が所狭しと彩っています。その合間から、来年度最高学年の五年生が植えたチューリップの芽も顔を出してきました。新入生を迎える準備のスタート合図のように。また、学校用務員の小熊さんが種から育てたノースポールやパンジーも、春の光に誘われるように花をつけ、さみしかった校門横の斜面地も明るくなりました。植物も時間をちゃんと進めています。

平成二十八年度も今月で終わります。子供たちは心も体も大きく成長しました。きっと、ご家庭で実感する成長と学校で見えた成長とは、ちがう面がたくさんあると思います。そんな子供たちを、学校とご家庭、地域とが手を結んで、立体的にいろいろな方向から認めていくことで、ますます健やかに伸びてほしいと思います。そして、子供たちの成長に促されるように、我々学校職員も成長させていただきました。

これまでのご支援ご協力、本当にありがとうございます。平成二十九年度もよろしく願っています。

